

# のびのび育て!

## 葉山の子どもたち

来年10月オープンに向けて建設中

「保育園・教育総合センター」

福祉と教育が連携

少子化が進み、その対策と子育て支援が大きな課題になっていきます。こうした中、町では「葉山町次世代育成支援行動計画」を策定し、地域ぐるみで子育てを支援するための取り組みを進めています。

この一環として、福祉と教育が連携した新しいタイプの複合施設「保育園・教育総合センター」の建設に着手しました。来年六月に完成予定の施設の概要をご紹介します。

今年三月に策定された「葉山町次世代育成支援行動計画」は、子育て支援の重要な施策の一つとして、「保育サービスの充実と多様化」を示しています。

また、「葉山町障害者計画」でも、障害のある子どもたちの療育の拠点となる施設を建設し、保健・福祉・医療・教育が連携することによって、一貫した相談・支援体制を整備することをめざしています。

一方、教育の分野においても、多様化・深刻化する様々な教育問題への対応が急務になっており、教育研究や教員の研修、相談業務の一層の強化、さらには、町民の皆さんが自由に学べる生涯学習機能を備えた新しい施設が強く求められていました。

保育園・教育総合センターは、こうした流れを受けると同時に、現在の町

立保育園の機能を充実させるとともに、老朽化が著しいことから新設が決まり、今年七月に着工しました。建設場所は葉山消防署の隣です。鉄筋コンクリート造り三階建て、延べ面積は約二、三〇〇平方メートルです。一階が町立保育園、二階が教育委員会事務局と研修室・会議室、そして三階に、教育研究所と「ことばの教室」、発達に

まづきのある未就学児童のための療育機関「たんぼ教室」などが入ります。

### 保育園・教育総合センター

#### の概要

#### 町立保育園

核家族化の進展や働く女性の増加に伴い、保育ニーズが急速に高まっています。



## たんぼぼ教室

は二〇時まで延長する予定です。新設の保育園は、旧保育園に比べると、スペースがほぼ二倍に拡大します。園庭も広いので、のびのび保育が可能になりました。

現在は森戸地区にある「たんぼぼ教室」も、こちらへ移転します。

また、個別指導室や機能訓練室、プレイルームなどの療育スペースも拡大します。子どもたちはゆったりとした環境の中で、楽しく遊んだり、療育を受けることができます。

さらに、町立保育園が同じセンター内にあり、葉山小学校も隣接しているため、保育園児や小学生との交流なども期待されます。

## 教育関係

このため、町内にある公立、民間の保育園だけでは、保育ニーズを満たすことができず、現在、待機児童の数は十数人にのぼっています。

これを解消するため、保育園・教育総合センター内に新設・移転する町立保育園は、定員をこれまでより二〇人増やして八〇人になります。

また、保護者が病気などで子どもを面倒を見られない場合に備え、新たに一時保育も始まる予定です。

このほか、パートなどで短時間働く保護者のための特定保育や産休明け保育なども徐々に拡充していきます。

働く保護者からの要望が強い延長保育についても、当面は現在の延長（一九時まで）を継続しますが、将来的に

保育園・教育総合センターには、教育委員会事務局と、現在は上山口にある教育研究所や葉山小学校の「ことばの教室」も移転します。教育機能を一元化すると同時に、幼児教育と学校教育の連携を深めながら、教育研究や研修機能の強化などを図ります。また、教育相談機能を一段と拡充します。いじめや不登校など様々な問題で悩む保護者や児童・生徒からの相談を受け付け、問題の解決に努めます。

さらに、町民の皆さんの生涯学習を支援するため、二階に会議室や『学びの広場』を整備します。

### 問合せ

町立保育園・たんぼぼ教室については、

福祉課 ☎内線二三六・二三七  
 教育関係については、  
 学校教育課 ☎内線四三三  
 生涯学習課 ☎内線四五一  
 施設の整備については、  
 管財課 ☎内線三四四



〈イメージ図〉